



子どもの森づくり通信

(発行：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク)

JP子どもの森づくり運動
参加園月例会報
(2017年2月号)

〒146-0082 東京都大田区池上1-3-4 tel:03-5755-3213 fax:03-5755-3081
http://www.kodomonono-mori.net <mailto:info@kodomonono-mori.net>

「JP子どもの森づくり運動」とご縁をもたせていただいた方々に、
活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。



東京の事務局で育てている東北の“どんぐり”も、すっかり葉っぱを落として一本の棒の様。
枯れてしまったのかなって心配しなくても大丈夫ですよ。春になったら、ちゃんと緑の葉っぱが生えて来ます。
毎年のことながら、命の不思議に感動します。子どもたちに伝えてあげてください。

(目次)

1. JP子どもの森づくり運動 10年目を迎えて～活動のふりかえり(その2)～
2. JP子どもの森づくり運動 地域での活動レポート
3. 事務局からのお知らせ
 - 新・どんぐり博士の育苗講座(2017年2月号)

■「JP子どもの森づくり運動」とは

今、子どもたちは、高度な情報化社会の中でバーチャルな環境に取り囲まれ、本物の自然体験活動から遠ざけられています。しかしながら、子どもたちは、変化に富んだ自然体験活動の中でこそ、五感を通じて豊かな感性や健全な環境意識、そして子ども本来の生きる力を育みます。「JP子どもの森づくり運動」は、NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク(「子森ネット」)が「日本郵政グループ」との協働体制で、全国の幼稚園・保育園を拠点に、一貫した森づくり活動を通じて幼児期の子どもたちに自然体験活動と環境学習の場を提供しようという全国運動です。

■「JP子どもの森づくり運動」運営体制

- ・運営 : NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク(「子森ネット」)
- ・特別協賛 : 日本郵政グループ
- ・後援/協力

(公社) 全国私立保育園連盟

(公社) 大谷保育協会

(公社) 国土緑化推進機構

NPO法人C・C・C富良野自然塾

(一社) 日本森林インストラクター協会

NPO法人自然体験活動推進協議会

NPO法人MORIMORI ネットワーク

(一社) 日本オート・キャンプ協会

(株) 実業之日本社 月刊ガルヴィ編集部

保育環境研究所ギビングツリー



1. J P子どもの森づくり運動 10年目を迎えて～活動のふりかえり（その2）：活動の現状～

皆さんと共に活動しております J P子どもの森づくり運動が、今年、活動10年目を迎えます。そんな節目の年の活動が始まる春の活動を控え、子森通信では、1月号より3号に渡って、これまでの活動のふりかえりを行っています。

1月号では、活動の趣旨・目的について確認をしました。今月号では、活動の現状についてふりかえります。

1) 活動の推移

J P子どもの森づくり運動は、日本郵政グループとの協働体制で、2008年から活動が始まりました。活動当初、全国の保育園、幼稚園の参加園ネットワークは、わずか10数園からスタートしましたが、10年目を迎える**2017年1月末現在、全国で116園（保育園、幼稚園、こども園）**まで大きく育ちました。全国で、毎年、約6千人の幼児（少）期子どもたちが森づくりに参加する活動です。

**2) 活動の展開**

2011年「東日本大震災」をきっかけに、J P子どもの森づくり運動は、参加園がそれぞれの地元で取り組む「地域での活動」に積み上げる活動として、被災地の緑の復興支援活動「**東北復興グリーンウェイブ**」の活動が始まりました。全国の保育園、幼稚園、こども園の子どもたちが育てた東北の“どんぐり”の苗木を、被災地である岩手県山田町に植樹する活動は、今年で四回目となります。そんな「東北復興グリーンウェイブ」の活動は、岩手県山田町から、お隣の宮古市、さらに、福島県伊達市に広がっています。

**3) 活動の評価**

J P子どもの森づくり運動における「東北復興グリーンウェイブ」は、子どもたちが取り組む環境活動として、いくつかの環境アワードにおいて評価されました。

①2013年「ロハスデザイン大賞」大賞受賞

ソーシャルデザインをテーマに開催された「第8回ロハスデザイン大賞2013」の「コト」部門において、「東北復興グリーンウェイブ」の活動が大賞を受賞しました。

②2014年「生物多様性アクション」グリーンウェイブ賞受賞

生物多様性の普及に貢献した活動を顕彰する「生物多様性アクション2014」において、「東北復興グリーンウェイブ」の活動がグリーンウェイブ賞を受賞しました。

③2015年「グッドライフアワード」環境大臣賞グッドライフ特別賞受賞

「東北復興グリーンウェイブ」の活動が、環境アワード「グッドライフアワード2015」において、「環境大臣賞」グッドライフ特別賞を受賞しました。

2. J P 子どもの森づくり運動 地域での活動レポート（活動の詳細は、ホームページにて紹介しております。）

●福井県「大野幼稚園」秋の“どんぐり”を拾う会レポート

・日時：2016年10月16日（日） ・会場：福井県「前坂キャンプ場」 ・参加者：53人（保護者、職員含む）

今回の「“どんぐり”を拾う会」では、保護者が中心になって企画され、自然体験プログラム「森の生き物」も実施されました。



●東京都「中目黒駅前保育園」 地元の“どんぐり”の種まき会レポート

・日時：2016年10月6日（木） ・場所：近隣公園 ・参加者：園児18人

平成28年10月6日（木）16時から当園近くの合流点遊び場でどんぐりの種まき会を行いました。ナカメドングリースが絵本を使ってどんぐりの種類や成長の様子、どんぐりの植え方を説明した後、三学年に分かれてどんぐりを一人一つずつポットに植えて、最後に“どんぐりえがお”を踊りました。「みずにしずんだのを、うえるんだよね？」「ねかしてうえるんだよね？」と、すっかり“どんぐり”の植え方をマスターしていた子ども達でした。（By 浦田先生）



3. 事務局からのお知らせ

○ユーチューブチャンネル「子森チャンネル」のコンテンツが更新されました。

昨年秋に開催されました「東北復興グリーンウェイ」のテーマソング “♪どんぐりえがお”のビデオダンスコンテストから、下記新コンテンツがアップされました。是非、ご覧ください。

<p style="text-align: center;">「エコプロ2016」 ♪“どんぐり”えがお ビデオダンスコンテスト発表会</p>	
<p style="text-align: center;">♪どんぐりえがお ビデオダンスコンテスト グランプリ映像</p>	
<p style="text-align: center;">♪どんぐりえがお ビデオダンスコンテスト 参加12園映像</p>	

*「子森チャンネル」視聴方法：ホームページ ⇒ (左上の見出しから) 子森チャンネル&通信 ⇒ 子森チャンネル

●新・どんぐり博士の育苗講座（2017年2月号）～もうすぐかな？芽吹き時期～
関東以西では春一番も吹き、極端な寒気に何度か襲われたこの冬も終わり、植え付けたどんぐりの発芽や、育てている苗の芽吹きが気になる季節が近づいてきました。今回は、その時期と、春の育苗スタートについてです。
どんぐり博士：河内和男（子森ネット森林インストラクター）



真っ先に春を告げる植物と言え、身近な木ならウメ、山野草ならフクジュソウにフキノトウ、園芸種ではスイセンでしょうか。日本列島は南北に長く、春の訪れはその差を最も感じる季節と言えます。皆さんの地域の春は、今どれくらいですか？

さて、どんぐりをつけるコナラなどの樹種は、充分春が進んでから芽吹き発芽するタイプです。そんなわけで、どんぐりの発芽や苗の芽吹きは、早いところでも4月に入った頃、寒い地域では5月に入ってからです。その年の気候により大きく変動しますので、これはあくまでも目安ととらえて下さい。

次に、冬の間苗や植え付けられたどんぐりは、寒さに耐えるため休眠中（活動を止めている状態）でした。そのため育苗の手間をかける必要は有りませんでした。活動を始める芽吹きの季節に向けて、早めに少しずつ育苗（水やり）を始める必要が有ります。

今の時期は、まだ時々、苗などのポットを確認し、土がとても乾燥していたときだけ、たっぷりと水を与えて下さい。そしてお住まいの地域で桜が満開の頃になったら、観察を毎日して、土が乾いたら水をやって下さい。その後も毎日の観察を続けていると、小さな葉の芽吹きや、発芽を発見できます。そうなったら、ほぼ毎日の水やりがスタートです。